ひの市議会だより

第２３６号
令和3年（2021年）
９月１日発行
日野市議会

〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1 直通☎042-514-8007 FAX 042-586-4605 HP https://www.city.hino.lg.jp gikai@city.hino.lg.jp

一般会計補正予算（第4号）
公契約条例の一部改正 など
市長から提出された全ての議案を可決

令和３年第２回定例会で審議された主な議題を紹介します〈議案名は一部要約しています〉。

●公契約条例の一部改正 可決

市公契約条例に定める公契約の適用範囲を拡大するため条例の一部を改正するものです。

〈令和４年４月１日施行〉

●市営住宅条例の一部改正 可決

城址ケ丘団地市営住宅の用途廃止に伴い条例の一部を改正するものです。

〈公布の日から施行〉

●令和３年度一般会計補正予算（第４号） 可決

本補正は高齢者肺炎球菌ワクチン定期接種の自己負担軽減や新型コロナウイルス感染症対策など早急に対応が必要なものとして、４千285万円を追加し、歳入・歳出予算の総額を716億７千115万円とするものです。

その他の主な議題は３面にも掲載。全ての議案の審議結果は４面に掲載。

令和３年
第１回臨時会
市長提出議案４件全てを可決

７月20日に令和３年第１回臨時会が開催されました。市長から提出された議案は４件で、採決の結果、賛成多数で可決されました。主な議題を紹介します。

●令和３年度一般会計補正予算（第７号） 可決

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内小規模建設事業者の支援に３千500万円、雇用の創出と不足している介護人材の創出に２千485万円を追加し、歳入・歳出予算総額を722億２千420万円とするものです。

そのほかの議題は、３面に掲載、審議結果は４面に掲載しています。

令和3年第2回定例会は、5月31日から6月17日まで開催しました（下表参照）。この議会では、合計22件の議案および動議2件が慎重に審議されました。また、一般質問は22人の議員が質問に立ち、市政を質（ただ）しました。

会議の開催状況（報告）

令和３年第２回定例会は、このように行われました（主なもの）。

本会議		委員会			本会議			
5/31	6/2～4、7～8	6/3	6/8	6/9	6/10	6/11	6/15	6/17
就任の挨拶及び所信 市長が就任挨拶及び所信を表明 **議案上程** 市長が、議案18件・報告９件を提出 **採　決** 一部の議案を採決	**一般質問** ５日間にわたり、22人の議員が40項目を質問 ↓2～3面参照	**請願上程** 民生文教委員会に１件を付託 ↓3面参照	**議案上程** 市長が議案１件を提出 **採　決** 市長提出議案について採決	**議会改革等特別委員会** 議会改革に関する諸課題について議論	**企画総務委員会** 市役所の運営に関わる議案４件を審査	**民生文教委員会** 福祉や教育などに関わる議案３件と請願１件を審査	**環境まちづくり委員会** 渡部三枝委員、森久保夏樹委員、蛭田智也委員を紹介 環境や産業、まちづくりに関わる議案６件を審査	**審査報告** 各委員会での議案の審査結果を各委員長が報告 **議案上程** 市長が議案１件、議員が議案２件を提出 **動　議** 議員が動議２件を提出 **採　決** この議会で審議した議案について採決 ↓4面参照

※議会だよりは、「広報ひの」の月刊化により、９月１日の発行となりました。次回は12月１日発行予定です。

一般質問

市政を問う

定例会では、市政全般について議員から一般質問が行われます。今回は22人の議員が質問に立ち、40項目について行政の対応を質しました。掲載内容は、その要約です。 ※発言順に掲載

会議録の閲覧と検索

質疑や答弁などの詳細は、会議録で全文を確認出来ます。
➢第2回定例会の会議録は、8月下旬から図書館・市政図書室で閲覧出来ます。
➢会議録検索システムは、8月下旬から市議会のホームページで利用出来ます。

インターネット中継

本会議および常任・特別委員会の様子を市議会のホームページからご覧ください。
➢生中継は本会議当日のみ。
➢録画中継は、本会議当日の4日後(土曜・日曜日、祝日を除く)から。
➢スマートフォンやタブレット端末からでもご覧いただけます。

1 近澤美樹(日本共産党)

コロナ禍でこそ市民との「双方向」が欠かせない。「『広報ひの』、1か月に1度だけの発行」は撤回を!

問 月1回発行の理由は。
答 1か月のことを1冊の広報で伝えることが重要と考え、誌面を拡充し、月1回発行としました。

ごみ搬入路問題、地裁判決を尊重し、違法状態を解消、「30年以内の撤退」を厳守せよ!

問 30年以内撤退を問う。
答 クリーンセンター連絡協議会で了承されたスケジュールに基づき、次期処理施設を検討します。

コロナ禍から市民のいのち、くらし、営業をまもるために

問 市の独自支援を問う。
答 19歳、20歳の学生のいる世帯までひとり親家賃助成を拡充しています。

2 伊東秀章(無会派)

どうぶつ基金さくらねこ事業~猫の多頭飼育崩壊の事例~について

問 猫の多頭飼育崩壊への市の対応を問う。
答 公益社団法人どうぶつ基金のさくらねこ不妊手術事業を活用し、順次不妊手術を進めます。
問 シニア世代が万が一の時にペットを委ねられる先を確保できないか。
答 都動物愛護相談センターやボランティア団体との具体的な連絡体制の強化・構築を進めます。

「文理分断からの脱却」Society5.0教育における日野市の取組および将来像について

問 文理分断からの脱却の取り組みを問う。
答 文理分断脱却を見据え市内小・中学校では、地域の課題解決のため設定した問題を教科横断的な視点で解決する活動の充実を進めています。

3 大塚智和(公明党)

不正を許さない組織体制・内部統制基本方針・組織のコンプライアンス強化向上への取組について

問 市が考え、目指す内部統制について問う。
答 基本方針や推進体制、マニュアルなどを構築するとともに、考え方を全職員と共有します。
問 内部通報制度の体制整備の進捗について問う。
答 6月1日に日野市職員等の内部通報に関する条例を施行し、制度の運用・周知を開始しました。

浅川以南のまちづくりについて

問 南平丘陵公園全体の整備計画策定を問う。
答 老朽化施設更新など再整備可否を検討します。
問 南平一丁目丘陵地の市道における歩行者安全対策について問う。
答 現地調査および日野警察署との協議の上、適切な手法を検討します。

4 岡田旬子(日本共産党)

コロナ禍でも、最善の保育を!市の認識を問う

問 従来の保育内容や行事をどのように工夫し、行ったのか。
答 クラス別保育の徹底や午睡時には間隔を取るなど、ソーシャルディスタンスが保てるよう努め、行事では、観覧人数の制限や入れ替え制にするなど、密を回避する工夫を行いました。
問 消毒作業専用の職員について問う。
答 インフルエンザとの同時流行を懸念し、徹底した感染対策のため消毒作業補助者を雇いました。
問 職員の配置を問う。
答 従来から市独自の加算により、手厚い保育士の配置となるよう支援し、保育環境の充実に努めています。今後も基準に従って保育士の配置に努めながら、処遇改善の取り組みも継続し、人材確保に努めます。

5 森沢美和子(チームひの)

新しい市政の立て直しを!多様な就労機会の創出、多様な需要に応じる地域社会について~労働者協同組合法の活用について、日野市の課題解決について~

問 労働者協同組合法を市として活用できるのか。
答 これまで諸力融合の共通理念の下、地域内外の方と連携した取り組みが、本法成立により後押しされ、地域のさまざまな活動が認知されやすくなり、多様な働き方の実現につながると考えます。
問 施行までの市の考えと今後の方向性を問う。
答 多様な働き方や活動ニーズは、人口減少社会において重要なものと認識しています。今後は長期戦略ビジョンの策定の中で、地域での可能性や市民ニーズ、国の動向などの情報収集を行い、必要に応じて勉強会の実施などを検討します。

6 白井菜穂子(チームひの)

子どもの人権について~子どもオンブズ・条例委員会の設置を急げ!~

問 ヤングケアラーの支援・救済方法を問う。
答 実態調査を行い、問題点などの状況を踏まえた上で、子ども・教育の分野などと連携を図り、全庁的な体制で支援するための対応を検討します。
問 子どもオンブズを(仮称)子ども包括支援センターに設置すべきでは。
答 子どもたちにとって相談しやすく、問題解決につながる仕組みとしてどのようなあり方が望ましいか、センターの開設を機に整理していきます。

地区センターのこれから

問 管理の方向性を問う。
答 地区センター個別の維持管理計画を策定する中で、一括・個別管理の利点を比較し、最適な体制を検討します。

7 新井ともはる(無会派)

高齢者が暮らしやすい環境と「生活の質」の向上。早期発見、新たに始まった「認知症検診」

問 4月に新規事業としてスタートした認知症検診の受診率を上げるための工夫を問う。
答 特定健康診断、後期高齢者健診と同様に誕生月に検診を受ける仕組みづくりや検診ができるかかりつけ医を増やしていく取り組みを行いました。

感染力の強い変異株に置き換わった影響。コロナワクチン接種の有効性と副反応のリスクは?感染したら医療費はどうなるの?

答 厚労省はウイルスの小さな変異でワクチンの効果がなくなるものではない、と説明しています。医療費については、国の指定感染症に当たるため、自己負担はありません。

8 森久保夏樹(チームひの)

日野市の監査体制の見直しについて

問 監査委員の外部専門家2人体制について問う。
答 監査体制の見直しによるメリットやデメリットを検討し、議会の意見も踏まえながら、今後の調査研究課題とします。

市役所、市の公共施設及び日野市指定ごみ袋取扱店におけるキャッシュレス決済導入状況と予定について

問 キャッシュレス決済の導入について問う。
答 キャッシュレス決済は、窓口での手数料支払いなどに有効と考えます。先進市の事例および支払い利用実績などを参考に推進します。
問 指定ごみ袋購入の際の決済の可否を問う。
答 現金決済に限定していませんが、電子マネー側の事情で現金決済のみとなるケースがあります。

9 秋山薫(チームひの)

保育園の待機児童ゼロを目指し、さらなる質向上を目指そう!

問 保育園の今後の在り方について問う。
答 保育需要を正確に把握するとともに、各施設が継続運営できるように、需要と供給のバランスを見極め、必要な対応を検討し、市全体の保育の質の向上に取り組みます。

日野市の緑を守るために、チップ車両の復活と炭化推進など諸力融合、再資源化の再検討を!

問 剪定枝のチップ化や炭化活用について問う。
答 可搬式のチップ化機械の運用など剪定枝の有効活用に向けた仕組みづくりを検討しています。また、炭化は多様な利用用途や竹林の維持管理につながる手法と捉え、煙害や製品管理、活用ルートの確立など課題解決に向け調査研究します。

10 奥野りん子(無会派)

元副市長の2億4000万円が渡った手口を暴く!大坪市長は背任行為を市民に謝罪し再発防止に動け!

問 第三者委員会の進捗を問う。
答 今年3月から計6回の委員会を開催し、事実関係の確認、ヒアリング対象者などを決めました。今後は、ヒアリングなどが行われる予定です。
問 むこうじま保育園家賃前払い2億4千万円は、建設費用の金利分との説明だが、金利は何%か。
答 建物の建設資金を借り入れた場合の金利、5%で試算しています。

障がい者施設と利用者間のトラブル解決に市は責任を持て!

問 市内グループホームのトラブルに対する市の対応を問う。
答 トラブルの状況を整理し、詳細な書類などを添えて都に報告しました。

11 鈴木洋子(自由民主党)

自分らしく暮らせる健康長寿のまちへ

問 デジタル格差解消に向けての取り組みを問う。
答 令和3年度から地域の実情やニーズに合わせたシニアICT支援事業を開始し、スマートフォンの操作を学ぶ講座の開催などによりデジタル格差解消を図ります。

子供と家庭を全力で支える優しいまちへ

問 コロナ禍における子ども食堂への支援を問う。
答 子ども食堂連絡会において情報共有を行い、国や都からのコロナ対策や補助に関する情報提供などを継続します。
問 家庭教育の取り組みを問う。
答 第3次学校教育基本構想の理念にのっとり、市と教育委員会が連携し、子ども、家庭、学校、地域のつながり、学び合い、育ち合いを支援する取り組みを進めます。

12 渡部三枝(日本共産党)

虐待のないまちへ

問 コロナ禍の中で、虐待をめぐる背景や要因、推移を問う。
答 自粛によるストレスやテレワーク中の虐待など、過去にない事例も生じている状況から、さらに事態は深刻化していると認識しています。
問 子育て相談窓口の虐待に対する役割を問う。
答 専門性が求められる場所であり、虐待防止の観点からは早期発見のため早急な対応と連携、その背景、全体像を把握し適切なアドバイスをすることが求められています。家庭、保護者の状況に寄り添った支援が必要であり、そのような役割を担っていると考えています。
問 職員のスキル向上へ向けた研修などを問う。
答 国や都が実施する専門研修に積極的に参加するとともに虐待対応は心理的負担を考慮し、2人以上で対応しています。

13 峯岸弘行(公明党)

学校における諸問題について

問 オンライン授業の環境整備について問う。
答 学校や家庭での一人一台端末の活用ルールを決め、オンラインを活用した学びが継続できるよう環境整備に努めます。

障害者支援策について

問 デフリンピック(聴覚障害のある選手のための国際的なスポーツ大会)の周知と支援を問う。
答 国や都と連携しながら、市民にデフリンピックについて発信します。

パートナーシップ制度の導入について再び問う

問 制度導入について市の見解を問う。
答 東京都パートナーシップ制度導入自治体ネットワークに加入し、令和4年度中の制度導入を目指します。

14 田原茂(公明党)

ひきこもり、不登校、ヤングケアラー問題等について

問 不登校児童・生徒へのケア体制を問う。
答 一人一台端末を活用し、オンラインでの授業参加を働きかけています。
問 ひきこもり解決のための支援策を問う。
答 家族、親族の存在が非常に重要であるため、家族だけで抱え込まないよう、ひきこもり家族会と連携し、セミナーの企画など支援を継続します。

新型コロナウイルスワクチン接種を円滑に!

問 土日、夜間の接種時間拡大について問う。
答 人員確保などの課題はありますが、医師会との協議を進めています。
問 余ったワクチンの活用方法について問う。
答 ワクチン廃棄を防止するため、方針を定め、運用しています。

15 古賀壮志(自由民主党)

健康施策について

問 コロナ禍における市の健康施策を問う。
答 がん検診については、感染拡大防止対策を講じて実施しています。運動事業については、緊急事態宣言下では休止しましたが、自宅でできる運動メニューの送付や指導員から個別に電話での健康相談を実施しています。
問 高齢の方へのフレイル予防と対策を問う。
答 運動、栄養、社会参加の要素を取り入れ、介護予防教室事業に取り組みます。また、日常的な交流、運動事業などの継続を支援します。
問 がん対策の現状は。
答 がん対策推進基本条例により市の責務として、がんに関する正しい知識の普及啓発と予防に実効性のある施策の実施に努めています。今後は職域へのがん教育、検診受診勧奨や必要な情報提供を積極的に行います。

16 池田利恵(無会派)

インフルエンザワクチンよりも圧倒的に副反応被害の多いコロナワクチンの情報を市民に周知せよ!

答 国の新型コロナワクチンの副反応の報告は厚労省のホームページで公開しています。市でも副反応の情報を正しくお知らせできるよう、市ホームページに厚労省のホームページのリンクを貼るなどして周知しています。

認可外・企業型保育園の3歳児以降の受入れ体制を早急に!

問 進級先のない認可外保育施設との連携について市の考えを問う。
答 連携強化について、今後しっかり検討します。
問 病児保育を利用する際の情報提供について。
答 すぐに必要な情報が見つけやすいレイアウトにするなど、市ホームページからの情報提供の仕方を検討します。

17 蛭田智也(自由民主党)

新型コロナウイルスワクチン接種における現状と今後の展望について

問 65歳以上の予約時の混乱を踏まえた予約受付体制の強化などを問う。
答 コールセンターの回線増設や受付時間の拡大のほか、アクセス集中の回避策として、接種順位や年齢区分ごとに受付期間を設け、予約時期の分散を検討し、広報などで広く周知に努めます。

GIGAスクール構想における日野市の取組と課題について

問 現状について問う。
答 教職員向け研修会を開催し、全教職員、児童・生徒へIDなどを配布しました。また、各家庭から学習記録保存の同意書を回収し、一人一台端末の環境が整いました。小学校研究奨励校では一人一台端末を活用した公開授業を実施しています。

18 谷和彦(自由民主党)

交通事故のない社会を目指して−市内の状況を分析−

問 市内交通事故の発生状況と特徴を問う。
答 狭い道路や信号のない交差点付近で発生しており、自動車など交通用具による事故が大半を占めています。
問 日野駅前交差点の歩車分離信号について問う。
答 日野警察署からは歩車分離信号にすると交通渋滞の要因になること、横断待ちの歩行者が滞留できる空間が無く、通行上支障が出るため慎重に検討するとの回答でしたが、歩行者が安心して通行できるよう設置の要望を継続します。

蛍の生息できる環境を次世代に

問 緑地保全の見解は。
答 ボランティア活動をしっかりサポートし、多くの市民の皆様と協働で緑地保全に努めます。

19 中野昭人(日本共産党)

市長選で問われた大問題!市政をめぐる不正疑惑をただす

問 むこうじま保育園運営法人の選定過程を問う。
答 民間保育園連合会より、民営化の経験もあり運営実績のある現在の法人が最適との結論をいただき選定しました。今後、さらなる情報の整理、関係者へのヒアリングで事実関係を確認します。
問 賃借料に対する補助金について問う。
答 運営法人の負担可能額に限度があることから、賃借料月額390万円の3分の1相当の180か月分2億4千万円を前家賃分として補助し、残りの賃借料260万円の2分の1に当たる130万円を毎年補助することで、運営法人の負担を軽減し、保育園の安定的な運営を支えています。現在、この賃借料の金額、前渡金の妥当性、元副市長との協議経過などについて確認中です。

20 奥住匡人(自由民主党)

コロナそしてその先の未来へ、市民を守る・事業者を守る財政運営と事業者支援について

問 コロナ対策への財源措置について問う。
答 国・都からの交付金、補助金に加え、基金などを活用し、およそ31億3千万円を措置しています。
問 新型コロナウイルス感染症対策店舗等支援事業補助金について問う。
答 国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源に今年度から設立しました。学習支援事業や医療業など対象業種を拡大したことで、さまざまな業種から申請をいただいています。
問 今後の事業者支援策について問う。
答 商工会などと連携し、より一層の経営状況の把握に努め、財源の確保とともに業種別の課題にも対応できる具体的な支援策を検討します。

21 馬場賢司(公明党)

コロナ禍での子育て支援や子どもの貧困対策について

問 困窮家庭の高校生の医療費助成について問う。
答 市単独での負担は財政的に厳しく、都の動向も注視しながら、調査・検討します。
問 子どもの貧困対策基本方針の見直しを問う。
答 子どもと保護者の生活実態調査の結果や施策ごとの課題、コロナ禍への対応などに着目、留意をして議論の上、令和4年度以降に次期方針を策定する予定です。

桑ハウスの今後の活用や運営管理について

問 今後の活用方法について問う。
答 コミュニティ拠点となるカフェスペースなどの整備を含んだ公開活用方法を検討中です。社会科見学や各種イベントなどでも活用していきます。

22 島谷広則(チームひの)

居場所づくり、孤独・孤立対策に取り組む方々へ、日野市が今できること(その1) いのちの教育と日野市フードパントリー事業について

問 コロナ禍でケアが必要な子どもの調査や分析、学校との連携を問う。
答 個人面談やアンケートなどを実施し、心の不安の把握に努めるよう、各学校に指示しています。
問 児童館とフードパントリー事業の連携を問う。
答 全10児童館で事業のPRを行うとともに、7月から4児童館にフードパントリーを設置します。

中学校部活動の指導員について、日野市の運営を問う

問 指導員の現状を問う。
答 部活動指導員は中学校7校、10競技種目、24名を任用、外部指導員は中学校5校、7競技種目、11名が登録しています。

政府等へ意見書

第2回定例会で可決された意見書は1件で、関係各機関に送付しました。要旨は次のとおりです。
(全文は、市議会ホームページに掲載)

■郵便等による不在者投票の対象者拡充などを求める意見書

郵便による不在者投票制度は、「身体障害者手帳」か「戦傷病者手帳」を所持し、特定の要件に該当する方、又は「介護保険の被保険者証」の要介護状態区分が「要介護5」と認定された方が、自宅などから郵送などで投票できる制度である。

しかしながら、現状の制度は「要介護5」の対象者のみが郵便投票が認められる制度であり、介護度1~4においても投票所まで足を運べないケースも多くあるのが実態であり、総務省も平成29年6月「投票環境の向上方策等に関する研究会」における「郵便等投票の対象範囲の拡大」に向けた報告を受け、「投票の意思があっても、投票所に行けない在宅高齢者の投票環境の向上は、重要な課題である」とした上で、郵便等投票の対象者について、「要介護4」の対象者はもとより、「要介護3」全体を郵便等投票の対象とすることが適切であるとの提言が出されている。

併せて、罰則を含めた郵便等投票の制度について、高齢者本人のみならず、関係者にも周知・徹底し、現行の公正確保の取り組みを徹底すべきこと、また「在宅高齢者の移動支援」や「移動期日前投票所」などの取り組みについても提言されているが、公職選挙法改正および有権者が投票しやすい環境の整備に結び付いていないのが現状である。

よって、高齢社会の進行を見据え、投票環境における制約をできる限り解消、改善し、さらなる投票機会の創出や利便性の向上に努めることを強く求める。

①郵便等投票の対象者を拡大するなど、要介護度の区分に関わらず在宅介護を受けている選挙人の投票機会確保を図ること。
②巡回・送迎バスの運行、無料タクシー券の発行など移動支援や巡回型期日前投票所も含め、他自治体間で投票の機会に差が生じないよう、公平確保に留意しつつ、改善に向けた議論を加速すること。

? **意見書とは**、市の公益に関することについて、議会の意思を意見としてまとめた文書のこと。議会は、その意見書を政府や国会などの関係機関に提出することが法律で認められています。

主な議題

令和3年第2回定例会で審議された主な議題を紹介します(議案名は一部要約しています)。

●手数料条例の一部改正 可決
建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律施行令の一部を改正する政令が施行されたことに伴い所要の改正を行うものです。
(公布の日から施行)

●市民農園条例の一部改正 可決
南平市民農園を新たな場所に設置するためその位置を変更し、併せて七ツ塚西市民農園について条例の一部を改正するものです。
(令和3年7月1日施行)

●市長等の給料月額の特例に関する条例の制定 可決
財政非常事態宣言に至った責任として市長、副市長および教育長の給料について減額するものです。
(令和3年7月1日施行)

●令和3年度一般会計補正予算(第5号) 可決
新型コロナウイルス感染症による影響への対策・支援として低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金のうちひとり親世帯以外に対する支給また新型コロナウイルスワクチン接種体制強化などについて早急に対応が必要なものに3億6千362万円を追加し、歳入・歳出予算総額を720億3千477万円とするものです。

●市議会会議規則の一部改正 可決
議員が、本会議及び委員会の欠席事由を公務、疾病、育児、看護、介護、配偶者の出産補助その他やむを得ない事由に変更するとともに、期間を規定、併せて法人提出の請願記載事項などを変更するものです。
(公布の日から施行)

●人事案件
▼副市長の選任に同意 同意
荻原弘次氏
▼人権擁護委員の推薦
依田明氏、松縄昌幸氏、石垣淳子氏

……………

令和3年第1回臨時会で審議された主な議題を紹介します。

●令和3年度一般会計補正予算(第6号) 可決
新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給に1億2千959万円を追加し、歳入・歳出予算総額を721億6千435万円とするものです。

●人事案件
▼監査委員の選任に同意 同意
福島基氏

皆さんからの請願

第2回定例会では、1件の請願が新たに提出され、所管の常任委員会で審査が行われました。定例会最終日の本会議の審議結果は、次のとおりです。

付託先	請願の件名	結果
民生文教委員会	日野市が「短時間勤務保育士にかかわる規制緩和」を安易に認めず常勤保育士が確保できる条件整備を進める請願	不採択

次回は9月1日開会

令和3年 第3回定例会(予定)

➢午前10時に開議する予定。
➢一般質問の発言順は、8月27日(金) に決定し、市議会のホームページで公表。

日	月	火	水	木	金	土
8/29	30	31	初日 9/1 本会議 会期決定 議案上程 など	2	3 本会議 一般質問	4
5	6 本会議 一般質問 請願上程 など	7 本会議 一般質問	8 本会議 一般質問	9 本会議 一般質問 議案上程 など	10 特別委員会 (議会改革等特別委員会)	11
12	13 常任委員会 (企画総務委員会)	14 常任委員会 (民生文教委員会)	15 常任委員会 (環境まちづくり委員会)	16 特別委員会 (一般会計決算特別委員会)	17 特別委員会 (一般会計決算特別委員会)	18
19	20 敬老の日	21 特別委員会 (一般会計決算特別委員会)	22 特別委員会 (特別会計決算特別委員会)	23 秋分の日	24	25
26	27	最終日 9/28 本会議 審査報告 議案上程 採決 など	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、日程等が変更される場合があります。市ホームページ等でご確認ください。本会議場(委員会含む)はインターネット中継をおこなう予定です。			

請願の提出　定例会初日〈9月1日(水)〉の正午までに提出された請願は、上表の日程(変更される場合あり)の中で審議されます。詳しくは、議会事務局へ。

「竹の小径」　撮影：橋本　昌利さん
日野市観光協会主催「伸びゆく日野市写真コンクール」入賞
※この作品は昨年撮影されたものです。

令和3年第2回 定例会で議決した議案

下表のように、市長提出議案20件、議員提出議案2件、動議2件が審議・議決されました。(議案名は、一部要約しています)

○…賛成　×…反対

▼賛否の分かれたもの

議案名	会派名	自由民主党					公明党				日本共産党					チームひの					無会派				会議結果
	所属する議員名	蛭田智也	鈴木洋子	奥住匡人	古賀壮志	谷和彦	大塚智和	峯岸弘行	馬場賢司	田原茂	窪田知子	渡部三枝	岡田旬子	近澤美樹	中野昭人	大高哲史	森久保夏樹	森沢美和子	白井菜穂子	島谷広則	秋山薫	新井ともはる	伊東秀章	奥野りん子	池田利恵	
市長提出	副市長の選任	○		○			○				(議長)	×				欠席	○				○	○	○	○	同意
市長提出	市長等の給料月額の特例に関する条例の制定	○		○			○					○					○				○	○	×	○	可決
動議	「河内元副市長問題に関して馬場元市長の説明を求める特別委員会」設置を求める動議	×		×			×					○					×				×	○	○	○	否決
動議	たかはた保育園の民営化における不正・腐敗の疑惑解明をすすめるための特別委員会の設置を求める動議	×		×			×					○					×				×	×	○	×	否決

※議長は、賛否の表明に加わりません。

▼全会一致で可決したもの　「承認」「同意」を含みます。

市長提出	市税条例等の一部改正の専決処分
市長提出	固定資産評価審査委員会条例の一部改正の専決処分
市長提出	令和3年度一般会計補正予算(第2号)の専決処分
市長提出	令和3年度一般会計補正予算(第3号)の専決処分
市長提出	地区センター条例の一部改正
市長提出	公契約条例の一部改正
市長提出	市営住宅条例の一部改正
市長提出	市役所支所の設置及び所管区域に関する条例の一部改正
市長提出	手数料条例の一部改正
市長提出	自転車等の駐車秩序の確保に関する条例の一部改正
市長提出	市民農園条例の一部改正
市長提出	市立保育園設置条例の一部改正
市長提出	令和3年度一般会計補正予算(第4号)
市長提出	市道路線の廃止
市長提出	市営自転車等駐車場の指定管理者の管理する施設の変更
市長提出	市民農園の指定管理者の管理する施設の変更
市長提出	人権擁護委員の推薦
市長提出	令和3年度一般会計補正予算(第5号)
議員提出	市議会会議規則の一部改正
議員提出	郵便等による不在者投票の対象者拡充などを求める意見書

令和3年第1回 臨時会で議決した議案

下表のように、市長提出議案4件が審議・議決されました。(議案名は、一部要約しています)

○…賛成　×…反対

▼賛否の分かれたもの

議案名	会派名	自由民主党					公明党				日本共産党					チームひの					無会派				会議結果
	所属する議員名	蛭田智也	鈴木洋子	奥住匡人	古賀壮志	谷和彦	大塚智和	峯岸弘行	馬場賢司	田原茂	窪田知子	渡部三枝	岡田旬子	近澤美樹	中野昭人	大高哲史	森久保夏樹	森沢美和子	白井菜穂子	島谷広則	秋山薫	新井ともはる	伊東秀章	奥野りん子	池田利恵	
市長提出	手数料条例の一部改正			○			○				(議長)	○				欠席	○				○	○	×	○	可決

※議長は、賛否の表明に加わりません。

▼全会一致で可決したもの　「承認」「同意」を含みます。

市長提出	令和3年度一般会計補正予算(第6号)の専決処分
市長提出	令和3年度一般会計補正予算(第7号)
市長提出	監査委員の選任

議員の所属会派の変更

令和3年4月28日付けで、池田利恵議員の所属会派が自由民主党日野市議団から無会派へ変更されました。

また、この変更により南多摩斎場組合議会議員が大塚智和議員に、浅川清流環境組合議会議員が鈴木洋子議員へと変更となりました。

通称名の使用

令和3年5月10日より、新井智陽議員が「新井ともはる」に、奥野倫子議員が「奥野りん子」に、通称名を使用しています。

東京都後期高齢者医療広域連合議会議員の選出

令和3年第2回定例会にて、東京都後期高齢者医療広域連合議会議員に鈴木洋子議員が選出されました。